

LEDスポットライト

(ライティングダクト専用・一般屋内用)

で使用になられる前に必ずお読みください

安全に関するご注意

この取扱説明書には取り付け方や交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。

この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。 :取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

器具(簡易取り付け型、ダクトレール用、プラグ付きを除く)及び配線器具の取り付け工事は 必ず電気工事店(有資格者)にご依頼ください。一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ:工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕様

品名	適合ランプ・ロ金 E17	定格電圧	周波数	消費電力	調光
SD-4459-LL	LED電球 ミニクリプトンレフ形×1灯 No.257EL:LDR4L-W-E17/R90電球色相当	AC100V (±6%)	50/60Hz	3.7 Wまで	非調光

※1回路の最大接続台数は20台(100V入力時)までです。(定格15A配線器具使用時)

●非調光型LED電球 調光及び調色はできません。 回路に調光機器*がついている場合は必ず取りはずしてください。(100%点灯でも不可)

*調光機器:調光器、調光型センサ、調光リモコンなど

必ずお守りください

製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産の損害を未然に防止するため、内容をよくご確認ください。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



▶器具を改造したり、部品交換 をしたりしない

火災、感電、落下の原因になります。



●浴室等の湿気の多いところや 屋外などでは使用しない 火災、感電の原因になります。 浴室禁止



屋外禁止



●布や紙などで覆ったり、燃え やすいものを近づけたりしない 火災の原因になります。

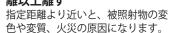
■器具の隙間や放熱穴にものを 差し込まない

火災、感電の原因になります。

●重量に耐えるところに確実に 取り付ける

落下によるけがの原因になります。

●器具と被照射面の間は指定距 離以上離す





必ず 実施する

●取り付けは取扱説明書にした がい確実におこなう 不完全な取り付けは、火災、

感電、けがの原因になります。

●電源接続は取扱説明書にした がい確実におこなう 接続不良による火災の原因になり ます。

●指定の方向で取り付ける

指定以外の方向で取り付けると火 災、感電、けがの原因になります。

●指定のランプを使用する 指定以外のランプは火災の原因 になります。



必ず 実施する

●ランプ交換やお手入れの際に は電源を切る

感電の原因になります。

●異常を感じた場合は速やかに 電源を切る

異常状態がおさまったことを確認 し、販売店または工事店にご相談 ください。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽症を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容を示します。



●水洗いしたり、スプレー式 洗剤をかけたりしない

故障、感電、火災の原因になり ます。



禁止

●腐食性ガス・粉じんの影響を 受ける場所、振動の多い場所 では使用しない

損傷、過熱、火災、感電、落下 の原因になります。



●調光器は使用しない(100%) 点灯でも使用不可)

故障、火災の原因になりますの で、必ず取り外してください。

●ストーブなど温度の高くなる ものを器具の真下に置かない 故障、火災の原因になります。



●点灯中や消灯直後のランプ および器具にさわらない やけどの原因になります。

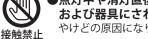
●表示された電源電圧で使用する 火災、感電の原因になります。



●電源工事は必ず販売店・工事 店(有資格者)に依頼する 一般の方の電源工事は禁止され

^{実施する} ●定期的に清掃、点検をする 不具合を発見した場合は使用を 中止し、販売店・工事店に修理 を依頼してください。

ています。



-1-

2 施工上のご注意: ※壁面または傾斜天井に取り付ける場合

壁面または傾斜天井に取り付ける場合は、ライティングダクト およびライティングダクトカバーを別途ご用意ください。



ライティング ダクト



ライティング ダクトカバー

⚠警告

ライティングダクトカバーは必ず使用してください。 カバーを取り付けないと火災・感電の原因となります。

҈҈警告

人が容易に触れるおそれのある場所にライティングダクトを取り付ける場合は、電源側に漏電遮断機を設置してください。

- ●漏電遮断機は定格感度電流30mA以下、動作時間0.1秒以内のものに限ります。
- ●電気設備技術基準解釈および内線規程で定められている条項を満足する場合は 接地工事は不要です。

電気設備技術基準解釈「ライティングダクト工事」第165条 内線規程 「ライティングダクト配線」3150節 ライティングダクトの設置の際は以下の 点をお守りください。





突起部(下向き)



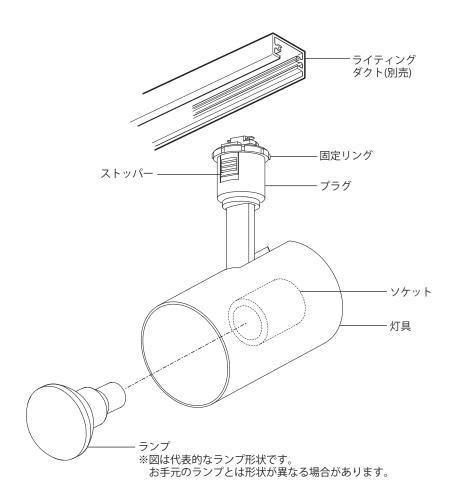






3|各部の名称

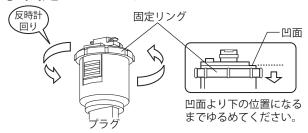
この取扱説明書の図は一部抽象・省略化した共通図です。お求めの器具とイラストは違っている場合があります。



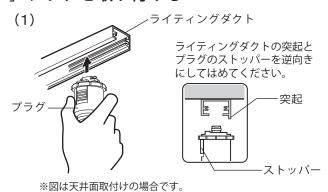
器具の取り付け

●安全のため、電源を切ってから取り付けてください。

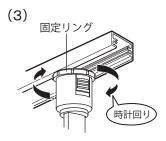
[1] 固定リングをゆるめる



[2] プラグを取り付ける







プラグをより確実に固定させ たい場合は固定リングをしめ てください。

※固定リングは必要以上に強く しめつけないでください。

壁面または傾斜天井に取り付 ける場合は、必ず固定リング を使用してください。



壁面または傾斜天井

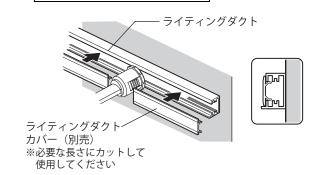
【プラグのはずし方】

- ① (固定リングをしめている場合は) 固定リングをゆるめてください。
- ②ストッパーを押し下げながら 反時計回りに90°まわしてください。



[3]ライティングダクトカバー(別売)を 取り付ける

※壁面または傾斜天井の場合のみ

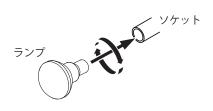


カバーはプラグ取付部を除いたすべての場所に はめ込んでください。 火災・感電の原因となります。

[4] ランプを取り付ける

ランプをソケットに取り付けてください。

●ランプを必要以上に強くねじ込まないでください。 破損のおそれがあります。

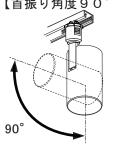


具の可動範囲

灯具を可動させる場合は必ず電源を切り、 しばらく時間をおいてからおこなってください。 やけどの原因になります。

●図は天井面に取り付けた場合です。

【首振り角度90°】



【回転角度3.60°】



6 スイッチ操作

壁スイッチにて「ON-OFF」操作を行います。

7 ランプ交換

「1] ランプを交換する

はずし方:ランプを左に回すとソケットからはずれます。

取付方法:ランプをソケットに合わせて右にねじ込みます。

みます。 ランプ つける

●ランプを必要以上に強くねじ込まないでください。 破損のおそれがあります。

8 保守・点検・その他の留意点

[1] LEDについて

- (1) LEDには光のバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- (2) LEDを長時間直視しないでください。目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- (3) 器具のきわめて近くで、赤外線リモコン方式のテレビ等の機器を使用すると、リモコン操作に影響を与える場合があります。
- (4) 器具を山間部、鉄筋建物等の電波の弱い地域でご使用する場合、音響、映像機器に影響を与えることがあります。 特に器具の近くでのラジオの使用はお避けください。雑音が入る場合があります。
- (5) ホタルスイッチは3個までとしてください。 4個以上では、スイッチを切ったときにランプが点滅したり暗く点灯することがあります。また壁スイッチ点灯切替機能付きの器具は、正常に切替ができない場合があります。

[2] お手入れについて

- (1) 器具のお手入れは柔らかい布で軽く拭いてください。
 - ※汚れがひどい場合は、水または薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞って拭き、洗剤分が残らないように水で2度拭きした後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
 - ※木材、紙、布などは水拭きせずに、柔らかい布またはは たきで、こまめにほこりを落としてください。
 - ※スプレー式洗剤などを直接器具にかけると火災の原因に なります。必ず布に含ませてご使用ください。
 - ※シンナー・ベンジン等ので使用はお避けください。器具が変色・変形する場合があります。
- (2) 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃をおこなってください。

[3] その他の留意点

- (1) 点灯中や消灯時間直後、プラスチックの伸縮により 若干のきしみ音が発生することがありますが、異常 でははありません。
- (2) 揮発性物質および殺虫剤等を器具にかけないでください。
- (3) 長期間で使用にならない場合は次のような保管環境をお守りください。
 - *直射日光を避けて0~35℃の温度範囲で保管してください。
 - *ほこりの多い場所での保管は避けてください。
 - *35~85%の湿度範囲で保管してください。
- (4) 廃棄の際、工具を使わずに取り外しできる部品(カバー、 ガラスグローブ等)は分別して各自治体のルールにしたがっ て廃棄してください。

[4] 照明器具の耐用年限について

⚠ 注意

設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検、交換をおすすめします。

※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。 (JIS C 8105-1 解説による)

※周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は器具の耐用年限が短くなります。

- ・1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。
- ・点検せずに長期間使い続けると、まれに発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。

「安全チェックシート」および「耐用年限」につきましては弊社ホームページ (https://www.yamada-shomei.co.jp) で紹介をしています。

■LEDモジュールの光束維持時間について

LEDモジュールの光束維持時間(※)は、40,000時間です。(照明器具の耐用年限とは異なります。)

※点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

■アフターサービスについて

で使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し、器具の型番(器具本体のラベルでで確認ください)、故障の状況、で使用期間をで確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にで相談ください。